

# 里山の生活体験教室【西条市】

～地域住民との交流を通して里山の暮らしを知ろう～

## ◆活動の目的・理念

- 地域の環境を生かした体験活動
- 地域住民や出身者との交流
- 地域住民の活力、地域の活性化

活動場所	大保木公民館		対象学区区名	西条市内全域及び新居浜市内一部の県立高校		子どもの平均参加人数	10 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	10 : 00 ~ 13 : 00	活動のべ 日数	7 日	協働活動リー ダーのべ人数	9 人
	日・休業日等	2 日	10 : 00 ~ 13 : 00				
協働活動サポ ーターのべ人数	14 人	PTA会員、地域住民、サークル会 員、地域出身者、防災士、NPO法 人		ボランティア のべ人数	83 人	地域住民、地域出身者、保護者	
参加者募集	各高校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集		連携・協力 機関・団体	大保木公民館、大保木地区連合自治会、西条自然学校、石鎚ふれあいの里			

## 取組の概要

### <主な取組内容> 体験プログラムの実施

- 旧大保木古道を訪ねて  
旧大保木古道を歩いて極楽寺へ向かい、大保木若手住民の体験談を聴きました。
- かずらでカゴ作り体験  
大保木の山で採れたかずらを使ってカゴを編みました。
- 集まれ未来の防災士  
平成16年台風災害地である大保木公民館にて地元防災士と高校生による防災学習を行いました。
- ふれあい運動会の運営体験  
大保木住民と一緒にイベントの進行や競技に参加して運動会を盛り上げました。
- 薪割りと薪を使ったご飯づくり体験  
山の木の歴史を学び、薪割りをし、割った薪を使って羽釜でご飯を炊きました。
- こんにやくづくり体験  
昔ながらの方法でこんにやく芋からこんにやくを作りました。
- 七草会  
地域の方が作ってくれた七草粥の試食や、七草の由来を学びました。



(旧大保木古道散策の様子)



(防災士と防災用品組み立て中)



(薪割り体験の様子)

### 児童・生徒の感想

- ・ かずらを編むのがとても難しかったけど、一人一人かずらの色や形に違いがあつて面白かったです。
- ・ 普段体験することのできない様々な体験ができ、とても貴重な経験となりました。

### <特色ある取組>

- かずらでカゴ作り体験  
材料となるかずらは、大保木地区の山間部に生えるつる草で、かずら細工サークル生徒自ら採取しています。つるの採取時期を逃さないことが良い作品を作る上で重要なポイントです。つるには太さや曲がり、硬さや柔らかさ、色合いなど、それぞれに個性があります。作り手が同じでも違った作品が出来ます。サークル生徒の中には最高齢100歳の方も現役で活動しています。世代を超えて自然にあるものを使って里山の生活を伝承することの出来る場です。



(かずらでカゴを編んでいる様子)

## 事業を実施して

### 【成果】

- 地域住民や出身者が講師となることで、本物の里山の暮らしを学べた。
- 大保木地区の過去の体験から学んだ事を子ども達へ伝える良い機会となった。
- 若い世代に里山の暮らしの知恵を教える事が出来た。

### 【課題】

- 各学校との日程調整の連携
- 冬季の交通事情
- 住民の高齢化が進み、この事業への参加の継続
- 持続可能な活動内容の企画